Heartening English CommunicationⅠNew Edition［212桐原 C1 212-901］観点別　教科書の特色

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内容の特色 |
| (1) 内容の選択・程度  ・学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材の用意 | ・本課（Lesson 1～10）では、高校生の興味・関心に合致する文化的な話題、科学的な話題、社会的な話題をバランスよく扱っている。また物語文、説明文、意見文、論証文といったさまざまなテキストタイプの英文が掲載されている。  ・Reading 1, 2では文学作品が扱われ、豊かな情操を培うことができる。  ・Real Life English 1～3では、日常の場面で目にする英語を学習することができる。  ・Project 1～3では、Lessonで学んだ内容を元に、生徒が自主的に深く考え、またグループで協力して取り組む活動を用意した。 |
| (2) 構成・分量  ・学習指導を有効に進めるための構成・分量 | ・課数、ページ数が想定単位数での履修に適合している。  ・各課冒頭ページに目標（Objective）が掲げられており、生徒に単元の目標や本文を読む目的を明確にさせてから学習に取り組ませることができる。  ・各課冒頭ページの導入活動（Think-Pair-Share, Before You Read）では、ペアワークやリスニングの活動を通して短時間に十分な導入をおこなうことができる。  ・本課（Lesson 1～10）の本文は易から難へと配列されているため、生徒が無理なく学習を進めることができる。  ・本文は1回の授業での履修を想定したパート分けがなされており、授業が進めやすい。  ・本文全体を掲載したページ（Whole Text View）が用意されており、本文を通して速読や音読がしやすい。  ・各課の言語材料（文法）の配列が体系的、段階的であるため、指導がしやすい。 |
| (3) 表記・表現および指導上の工夫  ・学習意欲を高めるための配慮  ・用語・記号の取り上げかたおよび記述のしかた  ・印刷や製本の配慮 | ・各課冒頭にはトピックに関連する写真が多数掲載されており、導入に役立つ。  ・本文のページには本文理解を助ける写真や図版が効果的に配置されている。  ・新出語に発音記号があるほか、重要語とそうでない単語を区別しているので、語彙指導をしやすい。  ・脚注が適宜挙げられており、学習しやすい。  ・ポスト活動のCommunication Activityが、本文で学習した内容を最大限に活用して取り組めるコミュニケーション活動になっているため、生徒が無理なく活動を行うことができる。  ・ポスト活動のRetellingではキーワードとイラストがあるため、本文を再構成して話す活動に取り組みやすい。  ・巻末のUseful Expressionsを使って，コミュニケーションに役立つ表現を参照しながら言語活動に取り組むことができる。  ・文字の大きさや書体が教科書として適当であり、図版も鮮明である。  ・紙質、製本とも丈夫であり、耐久性に問題がない。  ・ページを大きく開いたり、紙面へ書き込んだりすることが問題なくできる。 |
| (4) その他  ・(1)～(3)以外の観点  ・総合的な観点 | ・Real Life English 1～3やコラムページでイギリス英語が扱われ、生徒が多様な英語に触れることができる。  ・各課末のReal Life Informationでは、日常の場面で目にする、インフォグラフィクスなどの非連続型テキストを学習することができる。  ・巻末のReading Speed Trackerを使って、生徒ひとりひとりが自分の学習達成度を意識して、主体的に学習に取り組むことができる。  ・QRコードで音声を聞いたり、動画を視聴したりできるので、リスニングの自学自習をしやすい。  ・4技能（5領域）を統合した言語活動がバランスよく配されており、段階を踏んだ活動になっているので、総合的なコミュニケーション能力を養成するのに適している。  ・実際の授業を想定した授業展開例や評価基準例などを丁寧に示した指導書、充実したワークシートや評価問題、デジタルデータなど、指導用資料が充実している。 |